

令和8年度 京都教育大学教育学部学校推薦型選抜

小論文（教育学専攻）

【出題の意図】

問題1（配点50点：問1は5点、問2は45点）

問1 ここでは、教育に関連する文章の一部について、その趣旨を的確に読み取り、読解の要となる部分を特定できるかどうかを問うた。正答は下記の通りである。

「イノベーションが高いスキルの人材への需要をつくり出す前に、教育投資を行いスキルの底上げをしておくこと」（50字）

問2 ここでは、課題文を踏まえた特定の教育観を表明する一文に対して、賛成または反対の立場を明確にしたうえでその根拠を示すことを課した。その論述を通して、受験者の読解力、論理的思考力、表現力、また教育に関する関心の程度を問うことが出題の意図であった。

設問2（配点50点：問1は15点、問2は35点）

問1 ここでは、空欄までの文章の趣旨を的確に読み取り、その内容を適切に要約し、文脈に沿う形で表現できるかどうかを問うた。正答例は下記の通りである。

「何ができていて、どこに改善の余地があり、どうすれば改善できるか」（31字）

問2 ここでは、課題文における著者の主張を的確に把握し、小学校教員として行う工夫や留意点について具体的に論じることを課した。その論述を通して、受験者の読解力、論理的思考力、表現力、ならびに教育に関する関心や教育現場への応用を考案する実践力を問うことが出題の意図であった。

小論文（幼児教育専攻）

【出題の意図】

設問1（配点30点）

著者が述べている内容について、問題の指示に沿って適切に説明することを求めている。基礎的な読解力と文章構成力を問う問題である。

設問2（配点20点）

著者が述べている内容について、問題の指示に沿って適切に説明することを求めている。基礎的な読解力と文章構成力を問う問題である。

設問3（配点50点）

少子化が進んでいる現代の幼稚園や保育所等に求められる役割について、本文全体の内容をふまえて、自分の考えを述べることを求めている。思考力と表現力を問う問題である。

小論文（発達障害教育専攻）

【出題の意図】

出題した小論文は、障害のある人が行う当事者研究の意義について、ニーズに関する当事者自身の理解の視点を含めて論じたものである。障害のある人の支援を考える際、支援ニーズをどのように捉えるかということは重要な視点である。筆者は、ニーズは当事者であっても理解していると言い難いものであり、そのため当事者研究に意義があるということを述べている。

設問1 傍線部①について、置き去りにされる可能性が高まる理由を、一〇〇字以内で説明しなさい。

出題意図：障害のある人の支援を考える上でニーズをどのように理解するのは重要な視点である。筆者の意見を踏まえ、ニーズの重要性を捉えられているかを評価することで、入学及び入学後の学修に関する適正を判断する。（配点 30 点）

設問2 傍線部②の当事者ニーズを踏まえた支援について、当事者研究はどのような役割を果たすことが出来るかと考えるか、あなたの考えを二〇〇字以内で述べなさい。

出題意図：当事者ニーズを踏まえた支援に対して当事者研究が果たす役割は本小論文の主要なテーマである。本テーマの理解ができているかどうかを評価することで、入学及び入学後の学修に関する適正を判断する。（配点 30 点）

設問3 当事者研究を障害のある子供の指導・支援にどのように活かしたいと考えるか、あなたの考えを四〇〇字以内でまとめなさい。

出題意図：筆者が述べる当事者研究の意義を理解することは、当事者ニーズを踏まえた指導や支援の難しさや重要性について考えるきっかけとなる。筆者の意図を踏まえた上で、当事者ニーズについて考え、障害のある人の指導や支援について考えようとしているかをみることで、入学及び入学後の学修に関する適正を判断する。（配点 40 点）